

Practical Seminar

本年最終講義

プラクティカルセミナー ☆スペシャル編☆

栄養療法を日常診療の最強のパートナーにする!

日時: 2016年 **12月11日(日)**
10時~17時 (受付開始9時30分)

会場: **AP品川**

座長



溝口 徹 先生
(新宿溝口クリニック)
MSS主任講師

溝口先生の 講義もあります!

本日の講師の先生方がどのようにして栄養療法を日常診療に応用されているのか、興味津々です。私も先生方のお役に立つ最新症例を発表いたします。本年の締めくくりのセミナー、是非ご期待ください。

わたしたちがこれまで多くいただいた質問、
「他の先生方はどうやっているの?」
にお答えします!!

本年も全国から**栄養療法(オーソモレキュラー療法)**の
エキスパートの先生方をお招きし、
クリニックでの導入・実際・症例などについて
忌憚なくお話いただきます。 **+苦勞話**

講師の先生方



魚谷 千草 先生
(医王ヶ丘病院)

メンタル 石川県金沢市にある88床の単科の精神病院で、子どもの発達から認知症まで幅広く外来でみています。起立性調節障害であった息子が登校できるようになっていったことをきっかけに、分子整合栄養療法の素晴らしさにはまりました。



北島 具秀 先生
(成田病院)

頭痛 長年、頭痛の治療を行なってきましたが、鉄欠乏と考えられる症例を多数経験し、MSSのヘム鉄による治療効果を実感しました。頭痛治療は頭痛を治すだけでなく、患者さんの全身状態を改善することが必要と感じて診療を行なっています。



古賀 文敏 先生
(古賀文敏ウイメンズクリニック)

不妊 福岡にて、不妊治療・出生前診断にオーソモレキュラー療法を取り入れています。今回の講義では、当院にて調査した総コレステロールとAMH(抗ミュラー管ホルモン)の相関をお越しの先生方と共有したいと思えます。



武者 稚枝子 先生
(稚枝子おおつきクリニック)

子ども 山梨県大月駅前にて開業しており、8年前よりオーソモレキュラー療法を取り入れて女性のよろず相談をお受けしています。今回は子どもの不調の背景に潜む血糖値調節障害や重度の栄養欠乏の症例などをご紹介します。



森山 和幸 先生
(森山整形外科)

痛み 痛みを訴える患者さんの多くに重度栄養欠乏がみられ、その改善で痛みが軽減するケースがあります。毎朝、自発的に勉強しているスタッフと血液検査データをもとにしてディスカッションを重ね、患者さんへのアドバイスをしています。

「認定ONPによる「栄養療法におけるカウンセラーの役割」プレゼンテーション」

宮内 真知子氏(第1期認定ONP・管理栄養士) / 山根 理子先生(第2期認定ONP・医師)

対象	医師・同伴スタッフ (MSSと未契約の医師可。MSS契約済歯科医師/認定ONPの参加可)
費用	医師: 27,000円 同伴スタッフ、認定ONP: 17,000円 (税込、テキスト・昼食代含む)
定員	80名
お申込	申込用紙(本紙裏)のFAXもしくはMSSシステムより
お申込期限	2016年12月7日(水)

ご参加の皆さまに
糖質制限スイーツ
お土産付き!!

お楽しみ
豪華抽選会あり!!